

報道関係各位
プレスリリース

2018年12月20日

展覧会への入口講座 Vol.27 温泉～江戸の湯めぐり～ 国立公文書館平成30年度第4回企画展の内容を中心に

日比谷図書文化館では、2019年2月15日（金）に「展覧会への入口講座 Vol.27 温泉～江戸の湯めぐり～」を開催いたします。

日本人が親しんできた温泉。その薬用効果は古くから知られ、温泉に入浴して病気を治療する湯治は古代より行われてきました。江戸時代には、名所図会、紀行文などを通して情報が広く流布し、多くの人々が温泉地に訪れました。当初、湯治客を中心としていた温泉地は、次第に湯治場から行楽地へと変わっていきます。本講演では、国立公文書館で開催する企画展「温泉～江戸の湯めぐり～」の内容を中心に、関連資料を解説します。主に江戸時代の資料を取り上げ、人々と温泉の関わりをご紹介します。



「七湯集 (しちとうしゅう)」国立公文書館蔵
文化8年(1811)に成立した箱根温泉の案内書

講師 高橋 喜子 (独立行政法人 国立公文書館 統括公文書専門官室 調査員)

お茶の水女子大学大学院博士後期課程在籍。1989年神奈川県生まれ。お茶の水女子大学大学院博士前期課程修了。専門は日本近世史。江戸幕府の図書館とされる紅葉山文庫について研究を進める。主著「紅葉山文庫における幕府文書の管理—「御朱印写」を事例として—」(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第11号、2015年3月)など。

開催概要

- 日時：2019年2月15日（金）19:00～20:30（18:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：500円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/